

# ぬくもり

第3号

肌のぬくもりある医療  
宇佐高田医師会病院



私達は笑顔を大切にします

2006年1月16日発行

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635  
TEL.0978-37-2300代 FAX.0978-37-2307  
<http://www.16.ocn.ne.jp/~usatihp/>



←宇佐中央内科病院徳光先生より提供して下さった菊の花を觀賞する患者様と学生さん

## サークル紹介 華道部

1階ロビーで、ミニ花展を開きました↓ 10/25(火)~11/1(火)



←健康相談の様子  
宇佐市ふるさと祭りにて

**基本理念** 地域医療への貢献  
「肌のぬくもりある医療」の実践

- 基本方針**
- 一、救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
  - 一、高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
  - 一、患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
  - 一、職員が誇りを持って働ける病院を目指します。

目次	■ 新年のご挨拶	2 p
	■ 診療科紹介③消化器内科	3 p
	■ 統計	3 p
	■ 新人教育について	4 p
	■ 新人紹介	4 p
	■ AED設置しました	4 p
	■ 包括的心臓リハビリテーションとは?	5 p
	■ 心臓リハビリテーションの感想	5 p
	■ 学会・研修発表会	6 p
	■ 実習が終わりました	7 p
	■ 地域活動への参加	7 p
	■ 外来担当医一覧	8 p

# 新年のご挨拶



理事長  
上田 征八郎

## 理事長新年所感

明けましておめでとうございませう。皆様は新年のお慶びを申し上げます。

お正月、日本の平和と皆様方のご健康とご多幸を例年通り宇佐神宮にお参り、お願ひし、新年の門出をお祝い致しました。

宇佐市医師会の運営する全ての施設は運命共同体であり、この考えのもと「肌のぬくもりある医療」を理念に進みます。心技体揃ったバランスのよい、基本に忠実な医療の実践を心がけ、地域の中核病院としての役割を認識した運営、地域に密着した医療を引き続き継承します。

患者様が残された「生命の尊厳」の教えを自覚し、常に会員、地域住民、医療現場の要望に配慮しつつ繰り返し研鑽を重ねてゆく必要があります。皆様のおもいやりのある心、技、態度、行動に期待しております。

平成十八年 一月



院長  
中島 仁典

## 平成十八年を迎えて

新年明けましておめでとうございませう。昨年六月に創刊号を発刊しました「ぬくもり」も第三号となりました。今後も皆様のご意見を参考にさせて頂いていきたいから、内容の充実を図っていききたいと考えています。

私の禁煙も二年と一ヶ月となりましたが皆さんは如何でしょうか。私自身は今でも喫煙の誘惑に耐えるのにまだまだストレスを感じているというのが現状です。

医師会病院では、昨年の十一月から一・二階の空調工事、さらに心臓カテーテル検査専用室の新設及びこれに伴う改築工事がおこなわれていますが、すべて完成するのは三月初めになります。今後、これ以上の大きな工事は新病院建設まではないと思っております。もう少しの間ご迷惑をおかけしますがお許し下さい。

さて、平成十八年を迎えるにあたって病院の基本理念、基本方針を見直しました。これまでのものは平成十五年九月に見直しされたものでしたが、文章が長く覚えにくいとの意見がありましたので左記のように変更しました。かなりすっきりしたと思いますので、職員の皆さんは暗唱できるぐらいしっかりと覚えてください。そして、医師会病院が目指す「肌のぬくもりある医療」の意味を一人ひとりがしっかりと理解し職員全員で実践していきましょう。

### 基本理念

地域医療への貢献

「肌のぬくもりある医療」

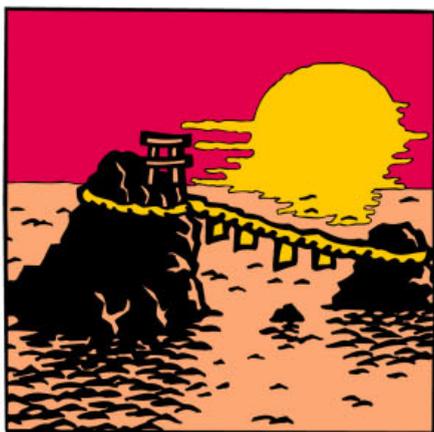
の実践

### 基本方針

- 一、救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一、高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一、患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一、職員が誇りを持って働ける病院を目指します。

私は職員の皆さん全員が、基本理念である「肌のぬくもりある医療」の実践に向かって気持ちをおひとつにして、それぞれの立場で病院の運営・経営に参加できる体制を作っていきたいと考えています。そのために今年は今までは以上に職員の皆さんの協力を必要とする事になると思いますのでよろしくお願ひ申し上げます。

平成十八年 一月 一日



### 3 めくもり

消化器内科は、大分大学消化器内科の協力の下、院長を含め3名のスタッフで下記に示すように内視鏡検査及び種々の治療（件数平成16年度）を行っております。



医師  
綿田 雅秀



消化器部長  
中嶋 宏

#### ■内視鏡検査件数

上部消化管	1203
下部消化管	506
逆行性胆管膵管造影	30

#### ■治療件数

上部消化管	112	内視鏡的止血術、食道静脈瘤結紮術及び硬化療法、食道及び胃粘膜切除、胃ポリープ切除、食道及び胃内異物除去、食道狭窄拡張、食道ステント留置、経皮的胃瘻造設等
下部消化管	97	内視鏡的止血術、大腸粘膜切除、大腸ポリープ切除、大腸狭窄拡張等
膵胆道系	77	内視鏡的十二指腸乳頭切開及びバルーン拡張、総胆管結石摘出、胆道ドレナージ、胆道拡張、経皮経肝胆道及び胆嚢ドレナージ等
その他	33	経鼻的及び経肛門のイレウスチューブ挿入、経カテーテル的肝動脈塞栓療法、経皮的エタノール注入療法等

他の主な診療内容としては、長期にわたる炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）や慢性肝疾患（B型、C型肝炎等）に対する厳重な管理（インターフェロン療法を含め）等があり、この様に、対象疾患は多岐にわたりますが、更なる診断、治療の精度向上を心掛けており、また緊急を要する症例については（外科との連携下）24時間対応できる体制を整えております。

診療科紹介 ③ 消化器科

平成17年度（8月～11月）

## 医事統計総括表

	8月		9月		10月		11月		
	16年度	17年度	16年度	17年度	16年度	17年度	16年度	17年度	
外来患者延べ人数(人)	2,099	2,055	2,104	1,887	2,156	1,857	2,227	1,984	
1日平均入院患者数(人)	102.6	92.0	95.9	101.0	99.0	97.1	104.5	101.2	
科別内訳	循環器	27.0	35.8	23.8	41.8	23.6	35.0	33.0	39.2
	消化器	21.3	15.5	21.3	15.8	23.6	20.4	19.6	18.8
	外科	30.9	25.8	29.5	29.7	29.7	30.6	35.0	31.0
	呼吸器	23.1	14.9	21.1	13.6	22.0	11.2	16.7	12.3
平均在院日数(日)	22.5	17.5	19.5	18.4	19.8	16.8	18.5	20.9	
病床利用率(%)	93.3	83.6	87.2	91.8	90.0	88.3	95.0	92.0	
紹介患者数(人)	202	238	192	218	231	240	218	197	
患者紹介率(%)	55.2	69.0	63.1	77.2	67.4	78.6	73.4	72.5	
救急車搬入件数(件)	57	72	87	80	83	62	69	61	

# 新人教育についての取り組み



総看護師長  
柳田 美雪

「ケ条」は、当院独自の自信作です。新人ナース研修体制づくりの充実を課題に取り組んで行きたいと考えています。今年の県からのテーマは、地域のネットワークづくりです。

## これだけは身につけよう新人十ヶ条

- あ・挨拶をします
- い・意思表示をします
- う・うそは言いません
- え・笑顔で接します
- お・覚えたらすぐメモを取ります
- か・確認を必ずします
- き・基本を守ります
- く・愚痴も聞いてもらいます
- け・健康管理をします
- こ・行動を振り返ります

## 新人を育てる三ヶ条

- 一、新人には「やって見せて育て方」をしましょう。「やってみせ、いって聞かせて、させてみて、ほめてやらなければ、人は動かし」
- ① 人を決め付けず、色眼鏡で見ないようにしましょう
- ② 相手が「答えられない」「できない」ということを、前提に指導しましょう
- ③ 一方的な説明、指示、命令だけでなく、考えさせる指導をしましょう
- 二、分からないことをいつでも聞けるような雰囲気を作りましょう
- 三、プリセプターだけがプリセプティに関わるのではなく病棟みんなに関わって行きましょう。

厚生労働省では「新人看護職員の臨床実践能力の向上に関する検討会の報告書」（平成十六年三月）を示唆され、「新人看護職員研修指導指針・新人看護職員研修到達目標」の概要をあきらかにされました。大分県でも、平成十五年度より二年計画で、『中小規模病院新人ナース研修支援事業』を立ち上げました。当院は、平成十六年度、六つのモデル病院の一つに指定をうけ、大分県福祉保健部の指導の下、看護大学の教授・ワーキングメンバー・地域の保健師課長の方々より直接指導やアドバイスを受けました。七ヶ月間の短時間で、直面している問題点や指導内容の見直し等を行い、当院独自の「新人教育マニュアル」を完成することができました。看護部教育委員会のメンバーの努力とスタッフの協力に感謝しています。プリセプター制を導入して三年が経ちますが、今回モデル病棟の指定をうけたことで振り返るチャンスを頂き、新人教育はプリセプターだけでなくスタッフ全員で、育てていく大切さが再確認でき、新人ナースの資質の均一化の必要性も確認できました。『新人を育てる三ヶ条』「これだけは身につけよう新人十ヶ条」

## 新入職員紹介

よろしく  
お願いいたします。



春田 大輔

- ① H17・12・1
- ② 循環器科 医師
- ③ 地域のために精一杯頑張ります。
- ④ 野球



宗 幸宏

- ① H17・10・11
- ② 中材・手術室 看護師
- ③ 初心の気持ちを忘れずに頑張ります。
- ④ 釣り、ドライブ



阿形 洋由

- ① H17・12・26
- ② 事務課
- ③ 楽せず楽しく仕事をする。
- ④ オーディオ、ドライブ



市丸 由紀

- ① H17・12・5
- ② 3階病棟 看護師
- ③ 笑顔を忘れず、患者様との接触を楽しみながら頑張ります。
- ④ スポーツ観戦



佐藤 美和

- ① H17・11・1
- ② 4階病棟 看護師
- ③ 焦らずやっています。
- ④ 特にないです。



久保 正代

- ① H17・11・1
- ② 3階病棟 看護助手
- ③ 挨拶と笑顔を大切に、頑張ります。
- ④ 映画鑑賞・テレビドラマ

①入職日 ②所属 ③モットー(一言) ④趣味

## AED 設置しました (自動的体外式除細動器)

このたび当院外来ロビーの柱にAEDを設置しました。

AEDとは、電気ショックが必要な心臓の状態を判断できる心臓電気ショックの機器です。平成16年7月の法改正から一般の方にも使用可能となりました。心臓が止まった人を助けるためには、できるだけ早く電気ショックを行う必要があります。

AEDによる蘇生法など詳しい情報については、循環器科医師までお尋ね下さい。



## 心臓リハビリテーションを受けての感想

当院に入院されていた患者様 豊後高田市 Iさん

初秋3週間の入院生活の感想の一端です。急性心筋梗塞。集中治療室から開放されるや病室での指導資料が届きました。心臓リハビリ中心の治療の開始。定年退職後10年の平穏な生活は急変、第3の人生の開始です。適度な運動レベルの測定値をもとに動く範囲を拡げるのです。自転車をこぎ心肺運動負荷を与えテストを繰り返して心機能の改善をはかります。最初の結果は1.6 METS、脈拍75以内、7段階中の第1段階という惨たんたるものでした。リハビリは続きます。階段昇降テスト、室内外の歩行練習、脈拍のはかり方、新しいライフスタイルのアドバイスは続きます。殊に櫻川先生の自転車歩行テストはその都度、具体例で目に見える指標例示には新たな気力が生まれました。

24時間体制で救急患者とも向き合い、患者の勝手な言い分にも笑顔で接する姿に頭の下る思いの連続でした。医療業務に従事の方々に感謝申し上げ今後のご発展を祈念いたします。

心臓リハビリテーション（心リハ）では、『包括的』心リハという考え方が重要です。患者さん個々の病態を評価した上で、適切な運動の仕方をお示し（運動処方といいます）実行してもらうことはその柱ですが、心リハが効果をあげるにはそれだけでは不十分とされているのです。

食事や服薬、日常生活についての指導、禁煙指導、あるいは患者さんの心理的サポートや復職の支援まで、心リハとは心疾患患者さんへの『包括的な』取り組みを意味します。そのために、医師や看護師だけでなく、薬剤師、栄養士など多くの職種スタッフが協力をしています。

## 心臓リハビリテーションの実際

対象疾患：急性心筋梗塞、狭心症、開心術後（6ヶ月以内）の方

### ①病態の評価をします。



### ③心疾患に対する説明を行います。

（病態の説明、冠危険因子の是正）

### ④生活指導を行います。

食事指導、服薬指導、日常生活の注意 禁煙指導



### ②運動療法を行います。



### ⑤復職過程の援助を行います。

### ⑥心理的サポートをします。

## 学会・研修会等報告

### ●学会発表

9月20日(火)  
第53回日本心臓病学会学術集会(大阪市)  
4階病棟 副主任看護師 角畑 ひさよ  
「葉の自己管理に関する一考察」  
-MMS Eを用いた調査より-

9月29日(木)  
第41回日本胆道学会(岡山市)  
外科医師 小田 康徳  
「肝膿瘍を契機に診断された粘液産生胆管癌の1例」

10月8日(土)  
第2回日本心血管カテーテル治療学会九州  
地方会(宜野湾市)  
循環器部長 櫻川 浩一郎  
「Cypher stent 留置後再狭窄の2症例」

11月9日(水)  
第67回日本臨床外科学会(東京都)  
副院長・外科部長 柏木 孝仁  
「経肛門的イレウスチューブの有用性」

11月19日(土)  
第271回日本内科学会九州地方会(那覇市)  
循環器科医師 古殿 真之介  
「かかりつけ医、救急隊、循環器専門施設の  
迅速な連携により救命し社会復帰に至っ  
た心室細動の1例」

### ●健康講座

9月30日(金)  
(宇佐市安心院)  
外科副部長 八谷 泰孝  
「最近急増している乳がんについて」

### ●論文発表

「臨床医」に掲載  
8月10日(水)発行  
消化器部長 中嶋 宏  
「右下腹部腫瘍の1例」

### 院内看護研究発表会

11月21日(月)午後6時より大研修室に  
て、院内の看護研究発表が行われました。  
今回外来、3階病棟、4階病棟の3組が  
日常の業務の中での疑問点、問題点など  
から特に患者サービスに視点をあて、数ヶ月  
かけて研究したものについての発表でした。  
・ペースメーカー植え込み患者の退院指導  
(4階)  
・検査パンフレットの作成(3階)  
・在宅酸素療法患者の教育と指導への取  
組み(外来)  
最後に、院長、総看護師長より通常業務  
外での前向きな取り組みに対して、労いの  
言葉が述べられ、今回だけではなく研究を  
今後の業務に生かしてもらいたいとの総評  
がありました。  
看護研究発表は、今後も半年に一度の予  
定で行われます。

### SARS訓練

9月12日(月)  
大分県宇佐高田県民保  
健福祉センターの方々  
による患者搬送訓練実施。

SARS患者→  
搬送シミュレーション



### AED講習会

10月27(木)28(金)  
心肺蘇生法、AED使用  
法についての講習  
職員全員参加  
講師：循環器部長  
櫻川 浩一郎

←AED使用方法説明の様子

### 呼吸リハ研修会

11月12日(土)  
呼吸理学療法の基本技  
術について  
講師：霧が丘つだ病院  
リハビリテーション科  
大池 貴行先生

呼吸介助法説明の様子→



### 循環器科勉強会

11月2日より毎週水曜  
日(4回シリーズで実施)  
講師：循環器部長  
櫻川 浩一郎

←第1回勉強会の様子

### 第2回宇佐市医師会地域医療研修会

看護研究発表会 12月3日(土)午後2時より  
宇佐市内の8つの病院が発表、参加。



質問の様子

発表後の懇親会

# 実習が終わりました

実習期間  
（4月12日～  
11月11日）

「柳ヶ浦高等学校看護学科の  
臨地実習について」

二年 東田 恵里香

渡瀬 淳子

柳ヶ浦高等学校専攻科主任

現在、本校看護学科では、中島院長と柏木副院長に、基礎医学の講義をご依頼しております。また、毎年約六十名の学生が病棟及び手術室で臨地実習を通して多くのことを学ばせていただいております。柳田総看護師長はじめ職員の方々にご指導を頂き大変お世話になっております。

臨地実習は学生が学内で学んだ知識、技術態度を統合し、看護実践能力の基本を身に付けるために不可欠な学習です。

学生は、患者さまや家族の方のご理解とご協力の下で看護師として必要な技術を習得していきます。そして様々な価値観や考え方を持つ人生経験豊かな患者さまや、ご家族と関わることでコミュニケーションを基盤とした人間関係能力を育成し、感性を磨いていきます。

これからも、白衣にグリーン色のエプロンを着た看護学生の臨地実習をご理解いただきご指導をよろしくお願い致します。

「臨地実習から学んだこと」

私は四週間四階病棟で実習をさせて頂きました。私が受持たせて頂いた患者さまは九十歳代で心不全の治療をされている方でした。

実習を行っていく中で一番感じた事は、観察の大切さです。同じ疾患でも症状は患者さまによって様々です。患者さまの状態を常に観察し、状態の変化があればその場で考察し看護を展開していかなければいけません。また、援助を行う際はどの様に工夫すれば心臓に負担がなくなるのかを考え、患者さまに適切な援助を提供しなければいけません。そのためには細かな観察が必要であると改めて学ぶことができました。

今後、看護師となつてからも患者さまはどのようなことが必要であり、自分は何が出来るだろうかと常に考え、患者さまの心を大切に援助していきたいと思えます。

実習中、ご多忙の中ご指導ご助言を頂きありがとうございます。

「臨地実習を終えて」

二年 小野 裕子

今回三階病棟で三週間にわたり実習をさせて頂き、手術を受けられる患者さまを受け持たせて頂きました。

その方の性格や社会的背景などによって患者さまの抱く不安や思いなど心境は異なり、その程度や手術の受容までのプロセスにも個人差があ

るため個別性を活かした援助を行うていくことの大切さを理解することができました。また、手術を受けられる患者さまの援助では術後合併症予防を念頭に置き、先を予測した看護の大切さを学びました。

今回学んだことをさらに復習し、国家試験や春からの臨床の場で活かしていきたいと思えます。

実習を通してご指導、ご助言を頂きありがとうございます。

## 地域活動への参加

栄養指導 栄養課 課長 管理栄養士 川野 富貴子

ここ数年来、健康志向の高まりにより次から次へと流行物が現われては店頭よりどっと消える現象が起きています。

そんな中、市町村の合併のみならず生活習慣病の大合併と言われるメタボリックシンドロームが注目されています。



11月29日(火) 19:00～ 豊後高田市健康交流センター 花いろにて

動脈硬化疾患危険因子の高血圧、高血糖、高中性脂肪や低HDLコレステロールなどそれぞれが軽くてもそれが重なることによって危険度が増していくことが強調され、食などの関わりが重要となってきます。

栄養指導や地域活動などを通じて、正しい情報や知識を伝えると共に食生活の見直しや気付きのきっかけ作り、又何か一つでも「これならできそう」と思えるものを一緒に考えていけたらよいなと思っています。

さて寒天ブームの次は何が流行るのやら・・・。

# 外来担当医師一覧表



時間帯	科 別	月	火	水	木	金	土
午 前	消 化 器	綿田 雅秀	中島 仁典	中嶋 宏	中島 仁典	中嶋 宏	中島 仁典 (再 来)
	内 視 鏡	綿田 雅秀	中嶋 宏	綿田 雅秀	綿田 雅秀	綿田 雅秀	
	循 環 器	春田 大輔	櫻川浩一郎	春田 大輔	櫻川浩一郎	櫻川浩一郎	—
					ペースメーカー		
	外 科	八谷 泰孝	柏木 孝仁	林 晃史	八谷 泰孝	柏木 孝仁	—
小田 康徳							
呼 吸 器	—	木野内林太郎	—	木野内林太郎	—	—	
午 後	呼 吸 器	—	黒田 芳信	—	—	—	—
	血 液	—	—	—	—	中山 俊之	—

## ○外来受付時間

午前 8:30 ~ 11:00  
 (午後の特殊外来は 午後 3:00まで受付)  
 ただし、急患はこの限りではありません。  
 ※当病院は、原則として紹介状が必要です。

循環器科  
 古殿真之介医師  
 H17・11・30 退任  
 春田大輔医師  
 H17・12・1 着任

## ○診療時間

午前 9:00 ~ 12:00  
 午後 2:00 ~ 5:00

## ○休診日

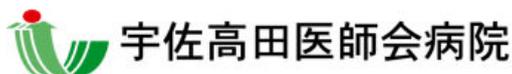
土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始 (12/30 ~ 1/3)



## ぬくもり 第3号

2006年1月16日発行

発 行 者



宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635  
 TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307  
<http://www16.ocn.ne.jp/~usatihp/>

### 患者様の権利

- 一、患者様は、個人としての尊厳が守られ、だれでも良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 二、患者様は、医療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
- 三、患者様は、医療に関して十分な説明と情報の提供を受けた上で、自らの意思で治療の方法を選択する権利があります。
- 四、患者様の個人情報、保護される権利があります。

### 患者様の責務

- 一、患者様は、ご自身の健康に関する情報を提供する責務があります。
- 二、患者様は、ご自身が受けられる医療に関して納得できるような質問する責務があります。
- 三、患者様は、他の患者様の療養生活に支障を与えないよう配慮する責務があります。

